



製造工程の内製化で油圧操舵システムの製品競争力強化

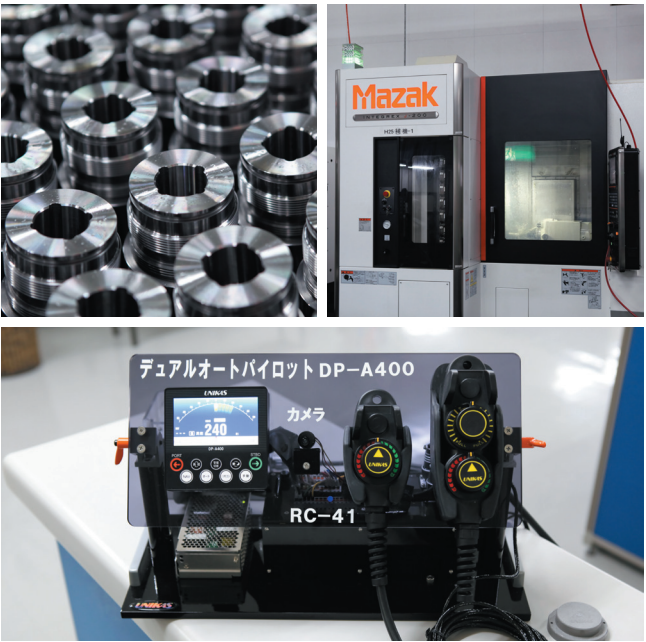
ユニカス工業は昭和48年に大阪市平野で創立し、60年に岡山県奈義町に本社・工場を移転。小型船舶の油圧操舵システム、オートパイロットシステム、燃料油フィルターなどの設計・製造・販売を手がけている。大手小型船舶メーカーから高い評価を受け、近年では小型船舶用操舵機器で国内トップシェアを達成した。

船舶メーカーからの受注増加と海外市場の拡大に伴い、販売を飛躍的に伸張できる可能性がある。その実現に向けて油圧操舵システムの製品の抜本的な競争力強化を目指した。油圧操舵システムは、油圧で操舵部のハンドルの回転を操舵シリンダーに伝え、舵板または船外機を動かして船の方向を制御するもの。故障すると衝突事故、漂流などに直結するため、人命に関わる重要な部品として優れた耐久性と高い信頼性が求められる。

生産体制の中で同社は設計と組立、検査を担い、部品の製造・機械加工に関しては大半を外注で行っていた。その外注工程で部品在庫の増大と管理の煩雑化、仕入れ価格の上昇、リードタイムの長期化などが問題だった。問題の解決が製品の競争力強化につながり、そのためには外注を内製化することが最も有効である。そこで複合加工機を導入し、油圧操舵システムの自社一貫生産体制の構築を目指した。

複合加工機の導入で
自社一貫生産体制を構築し
国内外に販売拡大

複合加工機を導入



企業から一言

内製化で生産管理が一変しモノづくりへの意識が向上
複合加工機の導入に伴い、生産性が大幅に向上しました。加えて従来の3か月の生産計画では出荷実績による見込発注で外注や在庫が増えていましたが、内製化で1か月の生産計画に短縮したことで減少し、生産管理の面で大きな意義がありました。加工を手がけることで現場の技術が向上し、加工現場から設計に改善を提案することもあります。機械が新しくなり、担当者も若手になって、いいものを作ろうというモチベーションが高まり、好循環が生まれています。

代表取締役社長 山下 龍二

事業者の概要

事業者名 ユニカス工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 山下 龍二
設立年月 昭和48年9月
所在地 〒708-1306 岡山県勝田郡奈義町西原455番地
TEL/FAX TEL.0868-36-3131 FAX.0868-36-6209
URL http://www.unikas.co.jp
資本金額 100百万円
従業員数 80人
業種 製造業
事業計画名 複合加工機導入による、油圧操舵システムの一貫生産体制の構築



導入背景

生産性の向上と製品競争力の強化

国内・海外市場が拡大していることから、生産性の向上と製品競争力の強化が同社の早急な課題となっている。部品の製造・機械加工を外注に出しては、コストや納期の面で大きな不利になる。競争に勝つためには、その工程を内製化する必要がある。そこで複合加工機を導入し、一貫生産体制の構築を目指した。

実施内容

機械導入で在庫削減と量産化へ

平成27年2月に複合加工機を導入。プログラム経験者をオペレーターに任命し、技能習得のための研修を行った。加工プログラムを作成し、試作による加工テストを実施。加工精度、加工時間などの目標値をクリアし、リードタイムの短縮や在庫削減に目途をたてた。

事業成果

3か月の生産計画を1か月に短縮

油圧操舵システムの主要部品に加え、遠隔制御のためのエンジンリモコン部品の加工を行うことで機械の稼働率が大幅に高まった。従来は外注部品のリードタイムが3か月であったため、3か月以上の生産計画が必要であったが、内製化により1週間以内で製品が完成することから1か月前の生産計画に短縮。数量や内容の変更に対応しやすくなった。